

さいたま緑の森博物館観察会 2012.6.24

(吉田記)

表題 「葉のカタチ」 講師 緑の森博物館 坂本 泰江さん 参加者 15名

エピソード 朝 博物館入り口のウグイスカズラの木にシマヘビが休んでいた。

暖かくなったので樹上にいたようだ。

ウグイスカズラ

入り口に置いてある鳥の標本の台木にカリバチが巣を作り穴の中に虫の幼虫を運んでいた。

観察会は10種類、20枚の標本が配られそれと同じものを探すことから始まった。

① ドクダミ



主脈と側脈がはっきりしている。卵状心形



② ヘビイチゴ



側小葉が2つに深裂していて5葉に見えるものがあるが3葉である。実は毒はないが食べても美味しくない

③ アケビ

アケビの葉は小葉5枚からなる掌状複葉で小葉は楕円形で鋸歯がない。互生する。



アケビは3種類ある。

ミツバアケビは小葉が3枚で縁に大きな鋸歯がある。ゴヨウアケビは小葉が5枚ですが縁に鋸歯がある。

④ シソ科の茎は四角です。

ヒメオドリコソウ

ホトケノザ



⑤ ヤマノイモの葉は対生
つるは右巻（下から見て）

オニドコロの葉は互生
つるは左巻（下から見て）



⑥ エノキ
ケヤキ・ムクノキ・エノキの葉の判別

名称	ケヤキ	ムクノキ	エノキ
葉			
葉身	長さ3-7cm、幅1-2.5cm	長さ4-10cm、幅2-6cm	長さ4-9cm、幅2.5-6cm
葉形	狭卵形～卵形	長楕円形	広楕円形
先端	長く鋭くとがる	尾状に長くとがる	急に鋭くとがる
基部	浅い心形 3脈がない	広いさび形かまるい 左右不相称 顕著な3脈がある	広いさび形 左右不相称 顕著な3脈がある
鋸歯	葉縁全体に 鋭い単鋸歯	葉縁全体に 鋭い単鋸歯	葉縁上部1/3ほどに 小さな波状の鈍鋸歯
側脈	鋸歯の先端まで達する	鋸歯の先端まで達する	側脈は葉縁近くで上に曲が 鋸歯の中へは入らない

エノキの葉

葉は互生し左右不同の広卵形または楕円形。縁の上部に鋸歯がある。葉の基部から出る3脈が目立つ。これがエノキの葉を特徴付ける



⑦ ミズキ

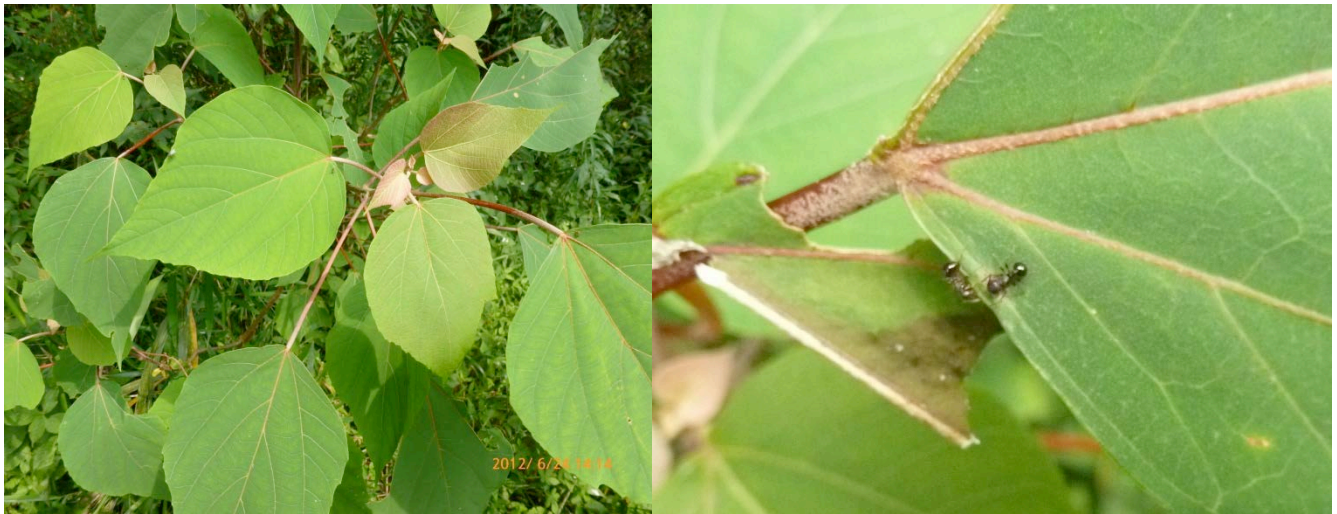
葉は互生する。ヤマボウシ、ハナミズキは対生。広卵形または楕円形、縁は全縁で大きな波状になり葉先は急鋭尖塔になる。裏面はやや白身を帯び有毛



葉脈から糸が出る。手品や子供との遊びに使える。

⑧アカメガシワ

新葉が赤い所からの名。葉は互生し縁は全縁あるいは波状縁、浅く3裂するものがある。カシワと同様食物を乗せるのにも使う。葉の基部には蜜腺がありよくアリが吸蜜にくる。



⑨オヘビイチゴ

へビイチゴと花がそっくり、葉は5葉で見分けがつく、実はできない。



⑩ 散策中に見かけた花



追記

上記は観察会のメモをもとに吉田が調べたものも含まれます。